

## はじめに

当研究所は、環境保健、放射線環境対策、危機管理、地域保健を効果的に推進し、公衆衛生の向上と増進を図るため、県における科学的・技術的な中核機関として、「調査研究」「試験検査」「公衆衛生情報等収集・解析・提供」「研修」を四本柱として業務を推進しています。

県では、試験研究機関について平成16年度に策定した「県立試験研究機関あり方検討報告書」に沿って見直しを行うこととし、当研究所については、17年度に設置された「保健環境科学研究所あり方検討会」の報告に基づき、平成19年4月に組織の一部改変を行ったところです。また、新知事の下で、昨年「財政健全化基本方針」が決定されたところであり、各部局や各地方機関では財政健全化へむけて、担当業務の見直し、より効果的・効率的な体制及び職場改善が求められています。加えて、当研究所においては、団塊世代の大量退職に伴う技術の継承、人材の育成が喫緊の課題となっており、重点的に取り組んでいるところです。

一方、調査研究・試験検査業務においては、危機管理への対応が年々重要性を増してきています。今年に入ってから、環境面では海岸への漂着ポリ容器の問題、ホテル地下からの硫化水素漏出事案などへの対応、健康面では「新型インフルエンザ対策推進本部」の設置に伴う対応など、危機管理対応の比重が高まっています。これらの問題に的確に対応していくことは、県民のニーズに応えられる試験研究機関として、重要なことと考えています。

この他、平成19年度は、宍道湖・中海等の水質保全調査、オキシダントや黄砂等の大気汚染調査、原子力発電所周辺の環境放射線調査等のモニタリングなどを行うとともに、宍道湖のカビ臭問題、食中毒や感染症など健康危機管理のための各種細菌・ウイルス等の調査、緊急時に備える放射線モニタリング等の調査研究を行いました。公衆衛生関連では、より効果的な医療と保健活動のあり方の解析調査などに取り組んでいます。

本報告書は平成19年度の当所の活動をまとめたものです。今後とも、当所の業務についてご理解とご協力をいただきますとともに、ご意見などありましたらお寄せ下さるようお願いいたします。

平成20年12月

島根県保健環境科学研究所

所長 大城 等

# 目 次

## 業務概要

1. 沿 革 .....	1
2. 施 設 .....	1
2. 1 位 置 .....	1
2. 2 敷地と建物 .....	1
2. 3 部門別内訳 .....	2
3. 機 構 .....	3
3. 1 組織と分掌 .....	3
3. 2 配置人員 .....	3
3. 3 業務分担 .....	4
3. 4 人事記録 .....	4
4. 決 算 .....	5
4. 1 平成19年度歳入 .....	5
4. 2 平成19年度歳出 .....	5
5. 新規購入備品 .....	7
5. 1 機 器 .....	7
5. 2 図書(備品) .....	7
5. 3 学術雑誌 .....	7
5. 4 年鑑・白書 .....	7
6. 行 事 .....	8
6. 1 学会・研究会 .....	8
6. 2 会 議 .....	9
6. 3 講習会・研修会 .....	12
6. 4 研修企画・実施・協力 .....	13
6. 5 来訪・見学 .....	14
6. 6 所内関係 .....	14
6. 7 そ の 他 .....	16
7. 国 際 交 流 .....	17
8. 技 術 指 導 .....	18
8. 1 講習・講演・講義等 .....	18
8. 2 個別指導 .....	18

9. 検 査 件 数 .....	19
10. 業 務 概 要 .....	21
10. 1 総務企画情報グループ.....	21
10. 2 企画調整担当.....	24
10. 3 検査等の事務の管理.....	25
10. 4 環境マネジメントシステムの運用.....	27
10. 5 細 菌グループ.....	28
10. 6 ウ イ ル スグループ.....	29
10. 7 食 品 化 学スタッフ.....	31
10. 8 大 気 環 境グループ.....	32
10. 9 水 環 境グループ.....	34
10. 10 原子力環境センター.....	36
11. 発 表 業 績 .....	37
11. 1 著書・報告書.....	37
11. 2 誌 上 発 表.....	37
11. 3 学会・研究会発表.....	38
11. 4 研究発表会.....	40
11. 5 平成19年度集談会.....	41
11. 6 保環研だより.....	41

## 調査研究

### 報 文

ライダー観測データの解析結果にみられる松江市の黄砂現象の実態 (Apr2006~Mar2008) .....	43
多田納力・黒崎理恵・清水 厚・松井一郎・杉本伸夫	
島根原子力発電所周辺におけるラドン濃度 <変動要因の解析> .....	52
生田美抄夫・藤井幸一	
Ge半導体検出器による In-Situ $\gamma$ 線の長期連続測定.....	59
生田美抄夫	

### ノ ー ト

島根県における麻疹患者の発生状況 (2007.4~2008.3) .....	66
飯塚節子・小村珠喜・田原研司・糸川浩司・保科 健	
Ge半導体検出器を用いた In-Situ $\gamma$ 線測定 <緊急時モニタリング測定地点> .....	69
生田美抄夫	

生活環境におけるラドン <濃度変動と実効線量> .....	74
生田美抄夫・藤井幸一	
蟠竜湖における底質コア中の放射性核種濃度（Pb-210とCs-137を中心として） .....	78
生田美抄夫	
山陰の高地での In-Situ Ge測定 .....	81
生田美抄夫・山根 宏	
<b>資 料</b>	
島根県で分離された <i>Salmonella</i> の血清型と年度別推移（2007年度） .....	87
岸 亮子・熱田純子・穂葉優子・勝部和徳・福島 博	
イノシシの病原菌保有実態調査.....	89
勝部和徳・岸 亮子・波多由紀子・藤原里美・福島 博	
インフルエンザ様疾患の流行状況（2007/2008年） .....	91
小村珠喜・田原研司・糸川浩司・飯塚節子・保科 健	
小児のウイルス感染症の調査成績（2007年） .....	97
飯塚節子・糸川浩司・田原研司・小村珠喜・保科 健	
ブタにおける日本脳炎ウイルスHI抗体保有状況（2007年） .....	102
田原研司	
島根県沿岸における貝毒検査結果（2007年度） .....	103
来待幹夫	
自然毒食中毒原因調査支援データベースの検討.....	104
来待幹夫	
有害物質などに関する水質測定結果（2007年度） .....	107
北脇悠平・福田俊治・崎 幸子・後藤宗彦	
宍道湖・中海水質調査結果（2007年度） .....	113
神谷 宏・北脇悠平・崎 幸子・福田俊治・吉岡勝廣・後藤宗彦・石飛 裕	
宍道湖・中海の植物プランクトン水質調査結果（2007年度） .....	118
大谷修司・北脇悠平・崎 幸子・福田俊治・神谷 宏・吉岡勝廣・後藤宗彦・石飛 裕	
GISを用いた斐伊川流域負荷量マップの作成 ―ノンポイント負荷量― .....	126
狩野好宏 <sup>1)</sup> ・北脇悠平 <sup>2)</sup>	

島根県内のトリチウム濃度 (2007年度) .....	131
江角周一・山本春海・生田美抄夫・山根 宏・伊藤 準	
環境試料の放射性核種濃度の調査結果 (2007年度) .....	134
生田美抄夫・山根 宏・江角周一	
空間放射線量率測定結果 (2007年度) .....	140
生田美抄夫・山根 宏・江角周一	
Ge半導体検出器を用いた In-Situ $\gamma$ 線測定 <モニタリングカー測定地点> .....	142
生田美抄夫・江角周一	
熱ルミネセンス線量計による空間放射線積算線量測定結果 (2007年度) .....	144
山根 宏・田中文夫・伊藤 準	
島根県におけるストロンチウム90の調査結果 (2007年度) .....	146
山根 宏・江角周一・生田美抄夫・伊藤 準	
<b>他誌発表、著書、報告書、抄録</b>	
<b>他誌発表</b>	
Similarities of Kawasaki disease and <i>Yersinia pseudotuberculosis</i> infection epidemiology .....	149
Pascal Vincent, Eeva Salo, Mikael Skurnik, Hiroshi Fukushima, and Michel Simonet	
島根県における大規模黄砂現象の発生状況と特徴 .....	149
多田納 力	
Long-term change in water transparency before and after the loss of eelgrass beds in an estuarine lagoon, Lake Nakaumi, Japan .....	150
(アマモ帯の消滅前後を含む, 潟湖中海における透明度の長期的変化)	
Jun-ichi Hiratsuka, Masumi Yamamuro, Yu Ishitobi	
Estimation of long-term variation in nutrient loads from the Hii River by comparing the change in observed and calculated loads in the catchments .....	150
(実測及び原単位法から見積もった斐伊川における栄養塩負荷の長期的変化)	
Hiroshi Kamiya, Yoshihiro Kano, Koji Mishima, Katsuhiko Yoshioka, Osamu Mitamura, Yu Ishitobi	
<b>報 告 書</b>	
集団発生事例および散发性胃腸炎からのノロウイルス検出状況 .....	151
飯塚節子	

リケッチア感染症の国内実態調査および早期診断体制の確立による早期警鐘システムの構築……………	152
田原研司	

斐伊川流域における負荷量の長期的変遷の把握に係る予備的研究……………	153
－実測法と原単位法による検討－	
石飛 裕・神谷 宏・三島幸司・狩野好弘・木村和郎・吉岡勝廣	

宍道湖・中海におけるこれまでの水質監視調査と水質保全調査研究および今後の調査研究方向 ……	153
石飛 裕・後藤宗彦・吉岡勝廣・神谷 宏・福田俊二・狩野好弘・崎 幸子・北脇悠平	

#### 学会発表抄録

公衆衛生関係（全 国）……………	154
公衆衛生関係（県 内）……………	159
環境衛生関係（全 国）……………	161
環境衛生関係（県 内）……………	164

#### 付 録

島根県保健環境科学研究所報の調査研究報告投稿規定……………	165
島根県保健環境科学研究所報の調査研究報告原稿作成要領……………	166